

登校日への準備（5月7日）

1 専門家会議の立場

学校における感染リスクをゼロにするという前提に立つ限り、学校に子供が通うことは困難であり、このような状態が長期間続けば、子供の学びの保障や心身の健康などに関して深刻な問題が生じることとなる。

子供の健やかな学びを保障することとの両立を図るため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取組を進めていくという考えが重要。

一律ではなく地域の状況を踏まえて、段階的に学校教育活動を開始していくことも可能である。

2 検温と体調の確認

児童本人はもちろん、できるだけ家族全員で検温し、体調確認をする。
体温が、37.5℃以上の場合や風邪症状があった場合は、学校に連絡し休ませる。

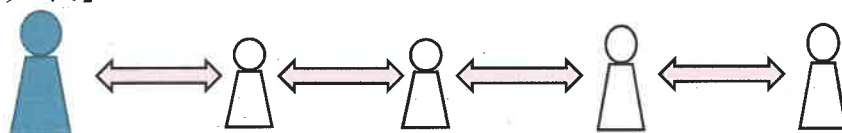
3 マスクの着用

必ず顔の大きさに合ったマスクを着用する。（手作りのマスクでOK。）

4 集団登校での注意

集団が密にならないよういつもより間隔を広げる。

【班長】



5 学校玄関でのチェック

検温ができていない児童は、保健室に行って、まず検温する。
（検温手帳を忘れた児童も、確認のため検温してもらうことがある。）

6 手洗い・うがいの実施

教室に荷物を置いたら、すぐに石鹼を使って手洗いし、その後うがいを実施する。
トイレや外遊びから帰った後も、必ず実施する。

7 授業中の工夫

可能な限り教室の机や椅子の距離を確保し、対面とならないよう工夫する。
咳エチケットの実施や必要でないときに大声で話さないよう工夫する。

8 下校後の消毒

児童が下校後、教職員が次亜塩素酸ナトリウム等で教室内や手洗い場、トイレの消毒を行う。